

大分教育事務所訪問 22

津久見市立津久見小学校から学ぶ

学校の教育目標「他を思いやり 学ぶ楽しさをもって挑戦する『つくみっ子』」を育成するために、めざす子ども像を「つよく」「くじけず」「みんななかよく」と定め、教科担任制を取り入れる等教職員の個性を發揮させながらも組織的に取り組んでいます。

学校経営から学ぶ

4点セットのそれぞれの取組指標を、「全職員共通の重点的取り組み」として毎月検証を行っています。その内容も、教職員の「取組指標の達成率」(数値目標)と、その結果子ども達がどうなったのかという、成長した点と改善点を明確にして、「来月、力を入れる必要があること」を決め、なんのために行うのか共通理解を図っています。そのため、子ども達もそれぞれの目標を理解しており、保健委員会など、児童会を中心に改善をすすめていました。また、保護者にも『バッチリウィーク』を定め集中して取り組むことで、当事者意識を持たせています。そして、教務主任さんが状況を分析し「たちばな通信」としてまとめ、学校をあげて子ども達に育成すべき資質・能力を伝えていました。

このように、短期PDCAサイクルを回す経営は素晴らしいです。今後は、それぞれの取組を分析する際に、「重点目標」や「資質・能力」という大きな目標に向かっているかを確認することで、「育成を目指す資質・能力」が焦点化され、目指す子ども像に近づくとおもいます。

授業から学ぶ

友だちの発表の聴く姿勢や「イイネ」「拍手」等の非言語の大切さも子ども達が理解しているので、安心・安全な空気がどの教室にも感じられ、自然に学び合いが行われていました。特に1年生は姿勢や発表の仕方など授業規律がよくできていると感じました。

校内研究の成果がそれぞれの授業に現れており、指導案のレベルも高いので、今後は市内の小・中学校へどんどん発信してもらいたいです。これからも津久見小の校内研究に目が離せません。私も参加してみたいなあ。



NO.115 2021年6月 津久見市立津久見小学校

思いやり

発表者の方を向くのは、ルールだからではなく、相手を思いやる心から



NO.117 2021年6月 津久見市立津久見小学校

挑戦する

挑戦する気持ちが指先にあふれている。



NO.116 2021年6月 津久見市立津久見小学校

学ぶ楽しさ

学び合うことで、自分や友だちの良さに気がつく。



NO.118 2021年6月 津久見市立津久見小学校

いいねのシャワー

安心な学級だから、自信をもって発言できる。そして、みんな成長できる。



NO.119 2021年6月 津久見市立津久見小学校

自然に学び合い

自分の考えを友だちに説明する。相手の思いを理解しようとして聴く友だちがいる。